

「あきげしき」は宮崎県総合農業試験場(国の指定試験地)において育成され、1997年に農林登録された。本県では1995年より奨励品種決定調査に供試し、その特性について調査した結果が良好であったので、1999年に水稲奨励品種として採用した。香川県における「あきげしき」の品種特性および栽培特性は以下のとおりであった。

1. 「あきげしき」は中生の早に属する粳種で、「黄金晴」に比べて出穂、成熟期とも2日程度遅い。稈長は同程度、穂長はやや短く、穂数は同程度の偏穂重型である。収量性および外観品質はほぼ同程度、耐倒伏性も同程度の強である。いもち病抵抗性はやや弱い。
2. 食味は、「黄金晴」に比べて明らかに良く、特に粘りの点で優れている。
3. 栽培適地はいもち病の常発地を除く、県下全域の平坦地である。

キーワード:栽培特性,奨励品種,食味,水稲,あきげしき,品種特性